

6月期一時金交渉報告：

6月13日、6月期一時金に関する拡大窓口交渉が行われました。

機構は、1から5級職員、常勤職員、および6級職員の基礎データを示しました。また、1から5級と常勤職員については、機構が考える配算式も提案してきました。

機構が提案した配算式

1から5級： 本給月額×2.215 + 6,500円×F + 62,462円

常勤職員： 本給月額×2.215 + 6,500円×F + 8,375円

ただし F = 扶養家族数

交渉の主なやり取り

機構- 基礎データなどを示す。

[労組]：先の団体交渉で、われわれの「旧サイクル機構職員も含めて、1から5級に査定を入れるな」という要求が受け入れられた点は高く評価している。

一般職(1から5級)は何人ですか。また常勤職員は。

[機構]：2437名、および30名です。

[労組]：常勤職員について、統合前後に一時金の配算など変更され、不利になったのではないかと訴えがある。統合においては、まず、もとの労働条件を継承するのが基本だったはず。われわれの手元には、基本的なデータがないので、常勤職員の一時金について、統合前も含めた資料・データを示して欲しい。

[機構]：統合前、常勤職員については明確な規定がなかった。統合時に規定を作り源資を分離した。旧サイクル機構では、一時金の配算式については、その都度交渉で決まったものがあるだけで、旧原研のように、きっちりした源資枠という概念は表に出ていなかった。

[労組]：規定をどう変えたかということは、示して欲しいが、それはそれ、労働条件として統合時にどう変わったかを明確に聞きたい。

[機構]：手元に資料がないので、すぐには出せない。次の交渉で示したい。

< 継続雇用の処遇改善を！ >

[労組]：継続雇用の職員について、先の団体交渉でも述べたが、処遇が低すぎる。

[機構]：継続雇用は規定に一時金も書いてある。

[労組]：規定は労使交渉の結果で変わりうるもの。(そんなことを言わせないで)年間の処遇

トータルでの改善を求める。

[機構]：今回、一時金については変えられないが、別に提案を準備中です。

[労組]：6級に処遇を反映させるつもりですか。

[機構]：今までどおりに行います。

[労組]：原子力ユニオンには、6級の職員がいますか？7級の職員は？

[機構]：6級はいます。7級はいません。ラインの課長代理の方は、原子力ユニオンにはいません。

[労組]：7級以上のデータ、回答とも示されていないが。

[機構]：そこは今までどおりのやり方をお願いしたい。

[労組]：今はともかく、そういうことはいつまでも付き合うつもりがないので考えておくように。

一般職の調整給は平均いくらになるのか？経過処置が進み、減っているでしょう。

[機構]：1,271円になります。減っています。

[労組]：一時金の将来見通しはどうか？

[機構]：どう意味ですか？民間の水準は一部の大手では増額しているようですが、中小では増えていないように思う。いずれ人事院勧告で出てくると思います。

[労組]：機構に対して「下げるとか、成果を上げているからもっと出してよい」とかの話はあるのか。仲間の独立行政法人の中には、切り下げ圧力の大きいところもある。

[機構]：まずは財源の問題があるので...

[労組]：配算式も提案されましたが？

[機構]：先の12月期一時金では、扶養家族に関する係数を労組の要求で、6000円から6500円にした経緯がある。今回は初めから、労組の意向を汲んだつもりです。

***** 次の交渉は6月19日の予定です。*****

労組第59期役員選挙実施中：高投票率で次期役員を励まそう！

東海地区における今後の投票日程

【投票日時】 6月18日(月)~20日(水) 10時~18時

【投票場所】 労働組合事務所

第418回中央委員会を開催します。

日時：6月27日(水)18:30~

場所：原子力科学研究所、研究1棟1F第5会議室

主な議題：活動報告、四半期会計報告、6月期一時金